

# 経営比較分析表（令和4年度決算）

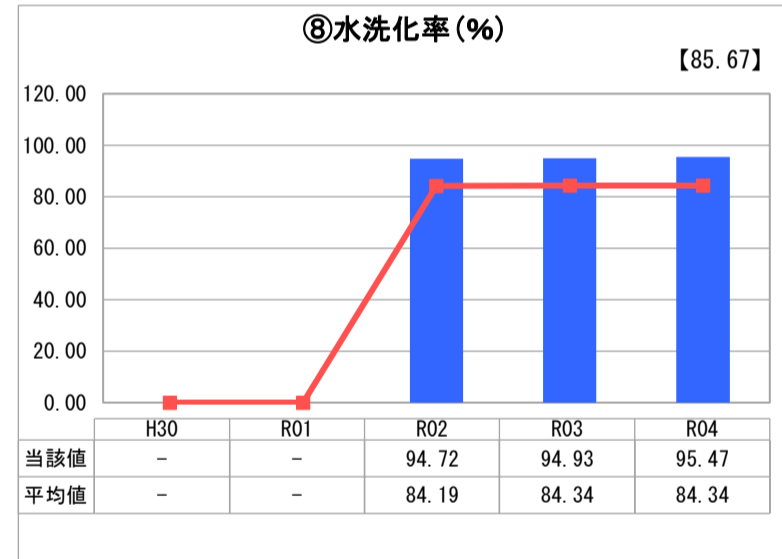
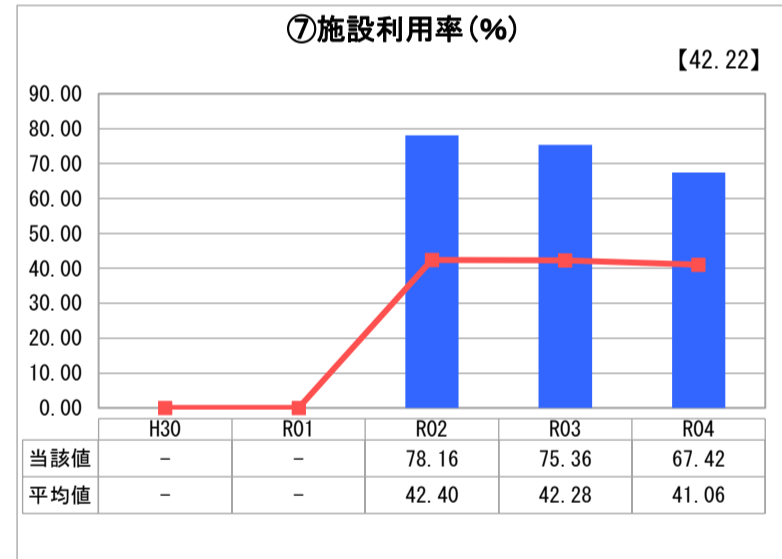
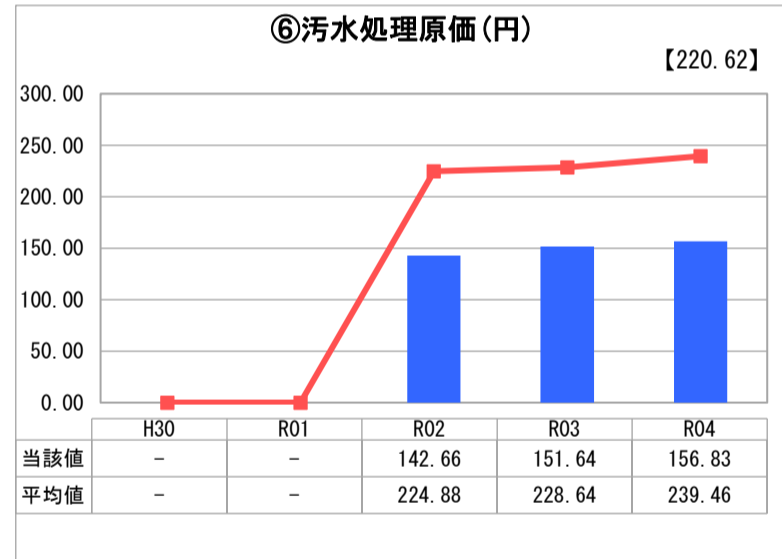
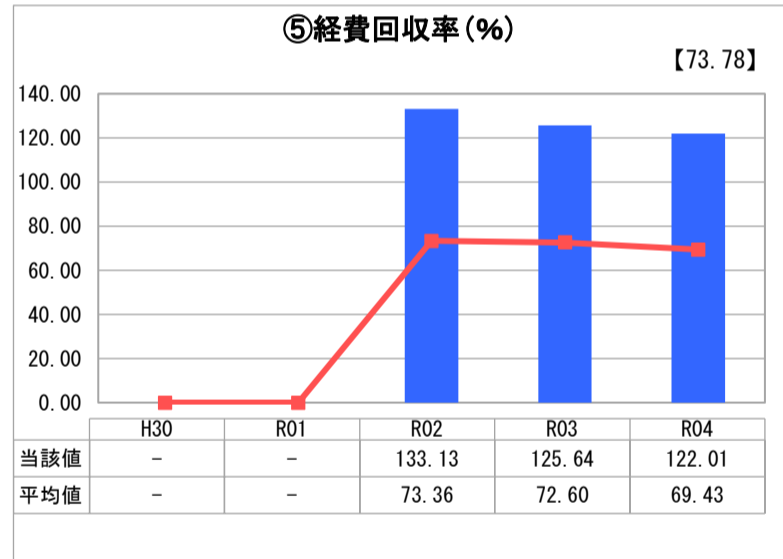
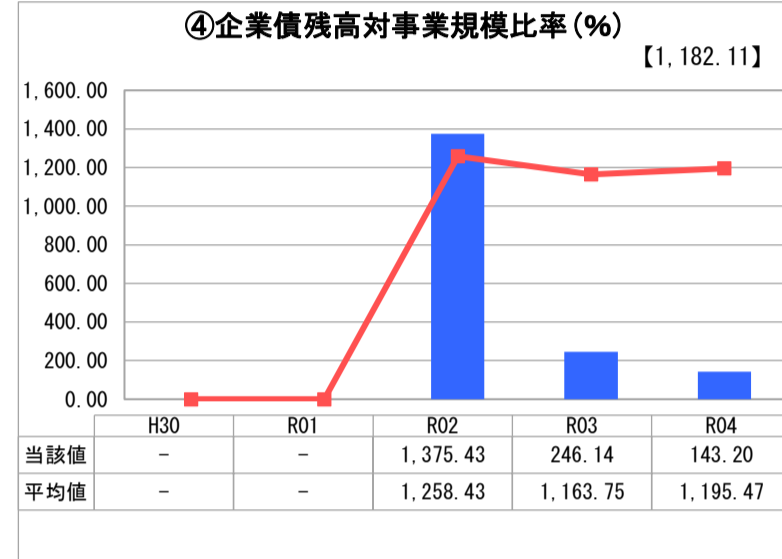
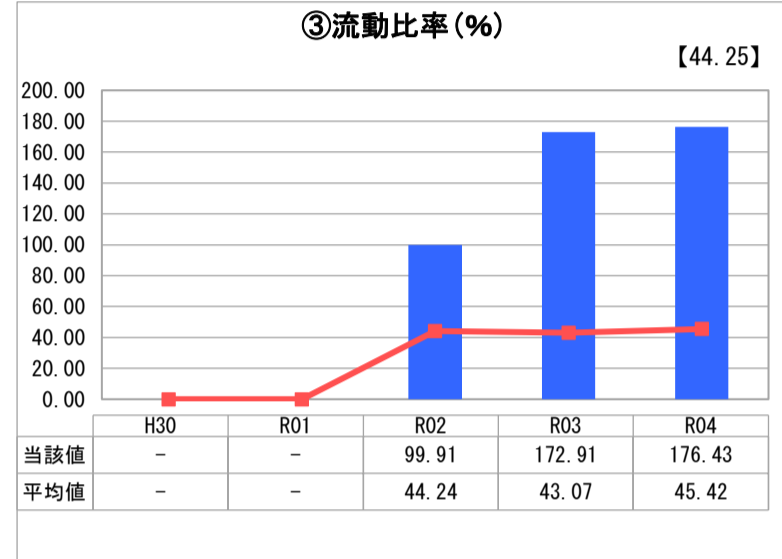
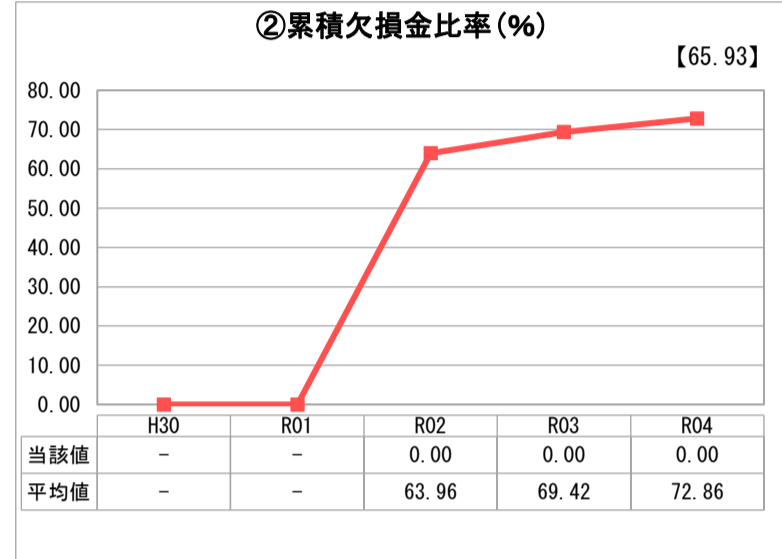
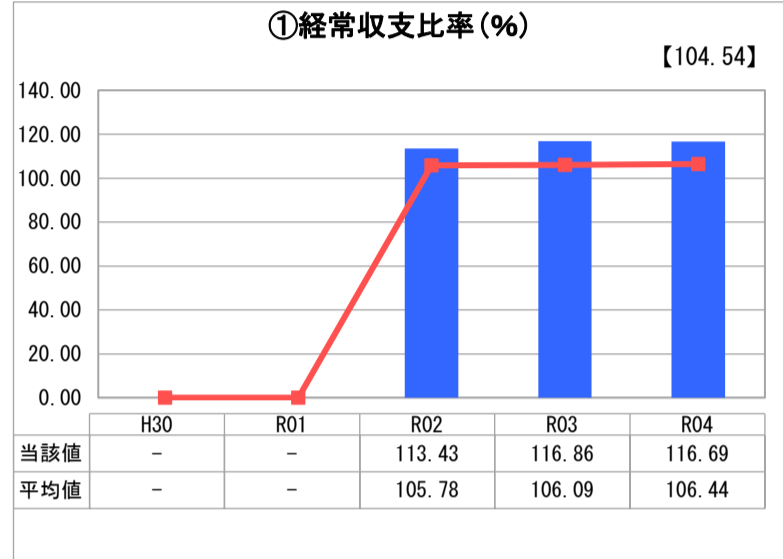
長野県 辰野町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	73.46	20.08	92.67	3,894

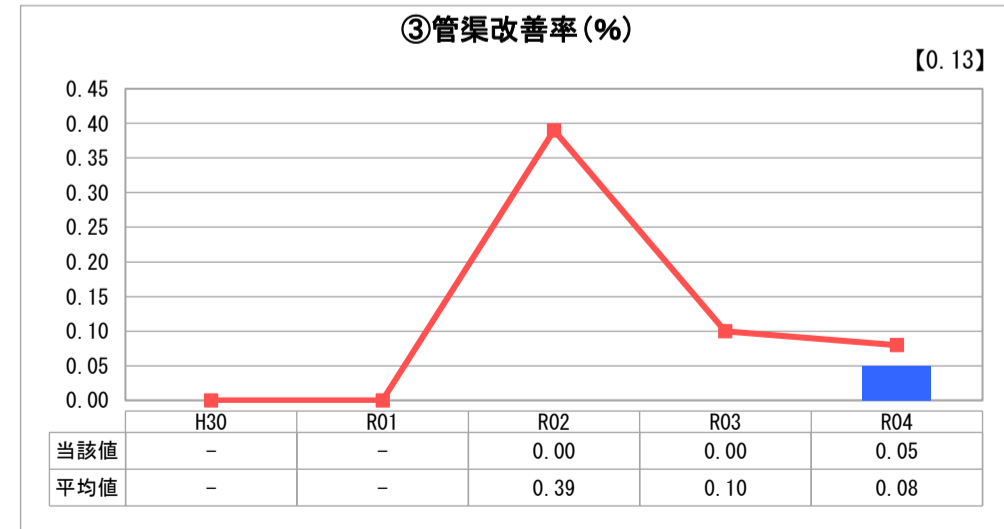
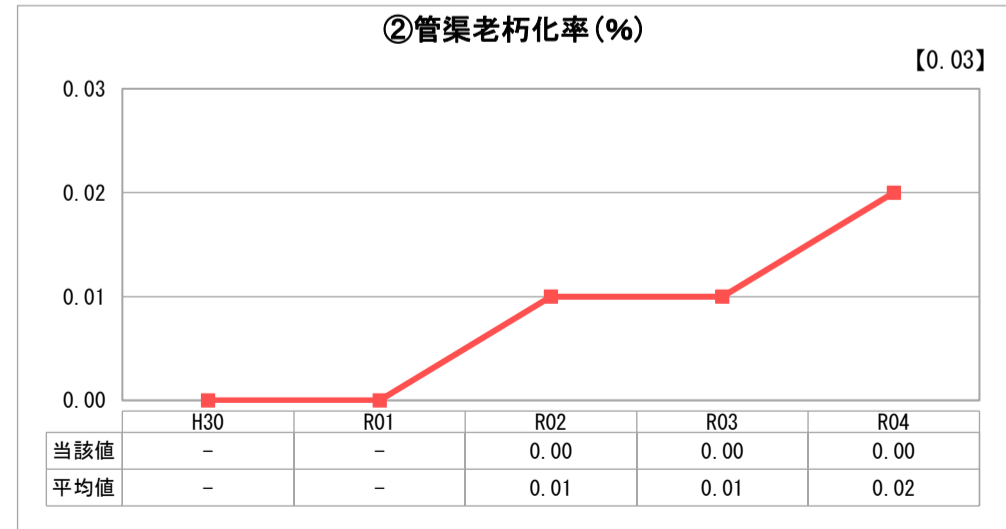
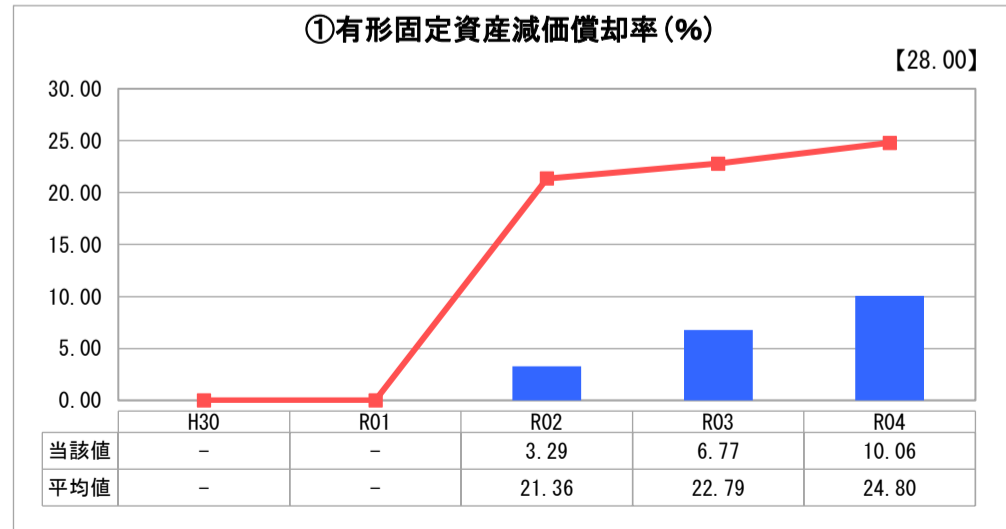
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
18,611	169.20	109.99
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
3,707	1.83	2,025.68

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
[ ]	令和4年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率は基準である100%を超える116.69%で類似団体平均値を10.25ポイント上回り、健全な状態です。しかしながら、一般会計繰入金に一部依存した収入構造となっているため使用料改定の検討・実施など改善が必要な状況です。③流動比率は176.43%と類似団体平均値を大きく上回りました。これは、1年以内に支払わなければならない負債の現金を確保できている状況です。④企業債残高対事業規模比率は類似団体平均値を大きく下回りました。今後は、償還金の支払いが減少傾向で推移していくことが予想されます。⑤経費回収率は基準である100%を超える122.01%で、類似団体平均値を大きく上回っています。引き続き使用料収入の確保に努めます。⑥汚水処理原価は156.83円と類似団体平均値を下回っていますが、引き続き汚水処理費の削減に努めます。⑦施設利用率は67.42%で類似団体平均値より高い状況ですが、長期的には人口減少に伴う利用率の低下が懸念されます。⑧水洗化率は95.47%で類似団体平均値を上回っています。

### 2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率は10.06%と類似団体平均値より低く、②管渠老朽化率は0%である。③管渠改善率の0.05%は若干手を加えた箇所があったためです。現在のところ大規模な更新・修繕を要する箇所はみられません。今後はストックマネジメント計画に基づき、長寿命化や耐震化事業を計画的に行っていきます。

## 全体総括

令和4年度は地方公営企業法適用3年目でしたが、経常収支比率、経費回収率ともに類似団体平均値を上回っており、健全経営のもと事業実施できたと認識しています。しかしながら、下水道事業特有の一般会計繰入金に大きく依存した収入構造となっており、下水道事業の適正な運営と持続的なサービスの提供を行うために、経営戦略の見直し作業を行いました。結果、下水道事業全体で今後10年間は経費回収率が100%以上の見込みであることから、5年後の経営戦略見直し時に再度、使用料改定の検討・実施などを行う予定です。なお、令和元年度以前の経営比較分析数値については法適用のため、0.00で表示しています。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。